

Q 高齢者が安心して生活できるまちへ

出雲敏太郎 議員



A 健康づくりや認知症の方と家族の支援体制を充実させる

質問一 今後の高齢化率の推計は。

二 健康寿命延伸の取組は。

三 認知症対策は。

四 市民後見人の現状は。

答弁一（市長） 本市の高齢化率は、2025年に30・7割に達すると推計している。

二 地域でスクラム健康運動事業では、声をかけあって参加する健康づくり運動を展開している。今

後も地域活動の活性化や運動環境の整備など、総合的な観点から健康づくりを展開し、市民・地域・行政が一体となって、健康づくり運動の拡大と定着に努めていく。

三 複数の専門職が認知症の方や認知症が疑われる方を訪問し、専門医による診断等を踏まえて医療や介護に繋げる認知症初期集中支援チームの設置や認知症サポーター



一の養成など、認知症の方が安心して暮らせる体制を進めている。

四 成年後見制度の利用者は増え続けており、制度を支える新たな担い手として、市民後見人の養成とその活用が求められている。平成26年度から市民後見人養成講座を開講し、現在、修了者のうちの6人が鶴ヶ島市社会福祉協議会の権利擁護支援センターで後見支援員等として活動している。

◎**その他の質問** 防災体制の更なる充実を

Q 市職員のモラル・綱紀 肅正の徹底を

高田 克彦 議員



A 再発防止に全力で取り組み、市民からの信頼回復に努める

質問 市では市民課窓口での市民アンケートの改ざん問題が、坂戸、鶴ヶ島水道企業団では職員による収賄事件が起きた。綱紀肅正と倫理向上の決意と手立ては。

答弁（市長） 窓口アンケートの不祥事発覚後、直ちに調査チームを設置して事実確認と原因の解明を指示した。この調査報告に基づき、関係職員の懲戒処分を行い、私自身及び副市長についても、給与の減額条例を議決いただいた。

また、管理職員の指導力とマネジメント能力の一層の向上を図るための研修を実施し、研修で得た公務員としての自覚、法令・社会規範等の遵守の重要性について、



部課長から所属職員に周知徹底した。再発防止と信頼回復に向けて課内で意見交換を行い、各課の意見を取りまとめ鶴ヶ島市職員不祥事再発防止策としたほか、鶴ヶ島市職員倫理規程も定めた。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団の贈収賄事件に関しては、常に公務員として自覚をもって行動するよう、改めて全職員に周知した。

今後は、従来にも増して、モラルの向上、綱紀肅正の徹底及び市民からの信頼回復に努める。

◎**その他の質問**

一 重度化をいかに防ぐか

二 子どもたちのやる気に応援を